

活動報告書

1 2013 年度活動報告

東日本大震災原発事故から3年目になるなかで、玄米の全量全袋検査の結果、99・9%が10 Bq/kg以下の検出限界値以下となってきた。野菜類においてもほとんどが検出限界値以下となっているが、野生のきのこは未だに摂取制限がされており、山菜類においても高い数値がでていいる。山林の汚染は深刻であり、この実態調査が必要である。農産物の放射能測定が減少してきているなかで、測定所のあり方の改善が必要となってきた。落ち葉、米ぬかなどの資材をはじめ今後も継続した測定体制が求められる。昨年の秋に(独)産総研と福大の協力の下、農家の外部被ばく調査のモデルを数名の会員にお願いした。農作業時の外部被ばくが高い数値となっていることから、今後若い農業者を中心に継続した調査が必要であり、今後も大学研究者との共同の取り組みが大切である。

昨年3月にオープンした「ふくしまオルガン堂下北沢」は多くの出会いと交流の場となり、売上も予想以上に伸びている。阿部店長はじめスタッフの皆さんの努力に感謝したい。今後も農家が交替で足を運びイベント販売と合わせて福島農家の声を届けることが大切である。また福島への視察交流の窓口としての役割は発揮されている。6月には「ふくしま有機農業女性の会」も発足してオルガン堂との料理やセミナーの連携がすすめられた。またこの女性の会は県内の農家の持ち回りで開催され、女性の交流の場として期待されてきている。

消費者庁の「消費者と生産者の理解交流促進事業」として福島県からの受託で福島県生協連との共催で11月23日に福島県ではじめての開催となる「ふくしまオーガニックフェスタ2013」は3,000人以上の来場者で盛況に終えることができた。県内の有機農業をめざす農家から60店舗の販売交流ブースが出展し、生産者のネットワークが広がった。さらに「放射能とくらしを考える」シンポジウムでは女優の秋吉久美子さんをゲストに招き、大変好評であった。また実証してきた大学研究者との「放射能パネル展」は今後活かしていきたい。野外では餅つきやイモ汁の提供と地元アーティストによる応援ライブもあり、多くの親子も訪れた。首都圏からは大型バス2台で参加して農家との夜の交流、次の日は農産物の検査場視察と津波被災地視察も実施した。

ただこのフェスタの規模が大きくなり、農業技術講習や放射能対策などが十分できなかったため、次年度はフェスタの規模や場所、時期の検討が必要である。

オルガン堂の開設により、多くの市民団体や企業との連携が広がってきた。福島現場に足を運んでいただき、農業の価値や再生可能エネルギーの取り組みなど視察や体験をとおして有機農業を推進していくことが大切になっている。

これまでは事務局、理事役員が中心の運営体制であったが、会員の力も活かして、さらに連携する団体の協力も得て運営体制を改善していくようにしたい。

2 事業内容

1、有機農業推進・啓発事業

- 有機農業学会シンポジウム(共催) 9月8日(福島市) 100名
「住民主導の復興を考える」
- 地域のカフォーラム(共催) 2月16日(東京都) 80名
「3・11後の都市と農村の新しい関係を考える」
- 第9回農を変えたい!東北集会 in 福島
3月1日~2日(相馬市) 120名
- 有機農業促進協議会(共催) 3月17日(福島市) 50名
「有機農業公開セミナー」

2、農業技術営農支援事業

- 「きずなファーム」浪江町(12月で解散)
- 「南相馬市小高区支援」
南相馬市小高区(種まき、田植え、稲刈りなど)
- 「家畜を飼ってこそ有機農業」 5月26日
石川町中谷自治センター婦人の家 講師:本田廣一

3、放射能測定事業

- 二本松測定所 測定数 123回
- 放射能対策プロジェクト(パネル展示) 8月21日 福島大学
- 天然カリ使用の要望書
1月22日 福島県農林水産部
- 会津測定所 測定数 17回
1月24日 農水省

4、消費者との連携・交流事業

- 「ふくしまオーガニックフェスタ2013」(別紙報告書)

●総来場者数:約3000人 ●参加団体・個人:60ブース

- 東京都荒川区役所内での定期販売(毎週水曜日)など主な販売先(別紙報告書)

●販売総額(2013年3月16日~2014年3月31日):約644万円(20%程度の販売利益)

■「ふくしまオルガン堂下北沢」

※運営費において、武田薬品の支援を得ている。

◎主なイベント・セミナー 販売イベント：10回 セミナー：2回

- ・4月21日 利き酒会 25名参加
- ・4月29日 下北沢マルシェ販売参加
- ・5月4日5日 喜多方山都町「本木上堰堰さらい」参加
- ・6月14日 「南相馬市小高区田植え会」参加
- ・7月13日 黄梅院・萬福寺にて野菜販売
- ・8月3日4日 産直市(夏野菜販売)
- ・9月8日 「いしかわ牛」フェア
- ・9月21日 農家と語るセミナー(白石農園と菅野正寿 参加者 28名)
- ・9月23日 萬福寺にて野菜販売
- ・11月10日 下北沢+被災地 命つなごうマーケット交流会
- ・11月13日～12月1日 「奥会津 只見線写真展示会」開催
- ・11月23日 「ふくしまオーガニックフェスタ 2013」へ90名バスツアー参加。
- ・11月30日 只見町ヤマサ商店佐藤さんそば定食を提供
- ・12月5日 喜多方市茶房千秋庭さんそば定食を提供
- ・12月8日 なすびさんと芋煮会開催
- ・1月12日 新春餅つき大会開催
- ・1月19日 きぼうのたねカンパニー参加者交流会
- ・1月31日 2.1&2 東北祭り販売参加
- ・2月5日 命つなごうプロジェクト「芋煮で語ろう会」販売参加
- ・2月14日 ふくしま新発売「福恋」の紅茶とデザート畑プレート販売開始。
- ・2月15日 福島の地酒を味わい考えるコメづくり
- ・2月22日 大熊町から埼玉県ふじみ野市に避難されている皆方々が13人交流会開催
- ・2月23日 福島ユナイテッドサポーター東京親睦会
- ・2月27日 石川町大平さんを講師に「農家とつくる味噌づくり」を開催。
- ・3月1日2日 「農を変えたい！東北集会 INふくしま」に参加
- ・3月5日 日立製作所 社内にて販売参加
- ・3月8日9日 「福島支援・ふくしま物産市」販売参加
- ・3月11日 映画『RIVER』上映会—3.11 東日本大震災を忘れない—販売参加
- ・3月14日 なすびさんのエベチャレ激励会開催
- ・3月15日 一周年記念開催 「一周年記念ランチ(福島郷土料理ランチ)」提供
- ・3月16日 世田谷社会福祉協議会主催、避難者交流会 への食事提供2品提供。
- ・3月18日 萬福寺にて野菜販売
- ・3月19日 武田薬品 社内にて販売参加

●総売上(2013年3月16日～2014年3月31日) : 約979万円

●総利用者(2013年3月16日～2014年3月31日) : 約9000人

■「ふくしま有機農業女性の会」

料理教室やお話会を毎月実施。オルガン堂にも料理のお手伝いに行く。

・4月9日	準備会	石川郡 石川町	大平美代子宅	5名
・5月9日	第1回	郡山市	中村喜代宅	16名
・6月4日	第2回	福島市	カフェ・ギャラリー風と木	13名
・7月26日	第3回	南相馬市	森のふるさと	12名
・8月21日	第4回	船引町	エスペリ	4名
・9月18日	第5回	南会津町	あらかい健康市場	8名
・10月23日	第6回	二本松市	関奈央子宅	11名
・11月23日	ふくしまオーガニックフェスタ 2013 参加			24名

「3.11 後を生きぬく女性達の車座トーク」

第1セッション

【農家の女性からの話】 司会：浅見晴美（喜多方市）

- ・根本幸子（南相馬市）
- ・大平美代子（石川町）

第2セッション

【消費する立場 子供支援にかかわる女性からの話】

司会：藤岡恵美子（JANIC）

- ・片岡輝美（放射能から子どものいのちを守る会・会津）
- ・安齋牧子（NPO Earth Angel）

第3セッション

【首都圏からふくしま支援を続けている女性からの話】

司会：黒田かをり（CSO ネットワーク）

- ・恵泉女学園大学学生
- ・井上美千子（東京ボランティア）

・1月27日	第7回	二本松市	佐藤洋子宅	11名
・2月24日	第8回	郡山市	中村喜代宅	5名
・3月1日	農を変えたい！東北集会 IN ふくしま参加			6名

以上、これらの事業実施にあたっては、ジャパンソサエティ（本部ニューヨーク）、日本国際交流センター、日本NPOセンターの支援金、また、よつば連絡会（本部京都）、真如苑の寄付金を利用させていただいた。